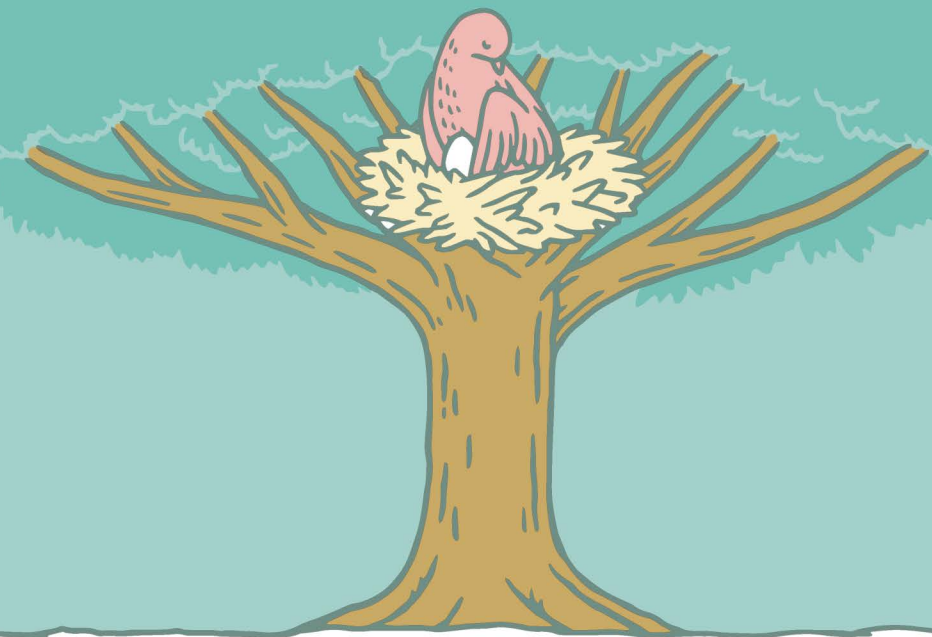


# 活動報告書

2022

# ACTIVITY REPORT



公益社団法人 小さないのちのドア

<https://door.or.jp>

〒651-1123 兵庫県神戸市北区ひよどり台2-30-6

TEL/FAX : 078-743-2405

Email : [office@door.or.jp](mailto:office@door.or.jp)

2023年8月発行

SNSでも情報発信中!



Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

公益社団法人  
小さないのちのドア



はじめに

「石の上にも3年」という言葉がありますが、小さいのちのドアの活動は3年を経て、まもなく5年目を迎えようとしています。先の言葉は活動を始めた当初、お心を寄せてくださるある方から頂いたのですが、その時、私は3年がとてつもなく遠くに感じられました。と申しますのは、先が全く読めず、3年先を描くことも、その行程も想像することもできなかったのです。確かなことは「一人のいのちでも救うことが出来たら」という思いだけでした。それは私たちの合言葉でもありました。

3年を過ぎた今、この言葉の重みをひしひしと感じております。もちろん文字通りの3年ではないことは承知しておりますし、むしろ3年でよくここまで形となったものと、多くの方々のお支えを頂いたことの重みを振り返っております。

県の事業を受託

2021年度に兵庫県から受託した予期せぬ妊娠SOS相談事業は2022年度も引き続き受託することとなりました。相談件数は急増しており、未受診妊婦の陣痛が起こってからの相談や、生まれた直後の相談など切迫した相談にも対応し、相談を受けたこれら全てのいのちを守ることが出来ました。

また2021年秋に特定妊婦等支援臨時特例事業の補正予算案が国会で可決され、それを受けて2022年6月より兵庫県から「支援の必要性の高い妊産婦への臨時支援」の事業を受託することとなりました。兵庫県では国の事業に加えて、実家のない妊産婦のために実家のような居場所を提供する妊産婦ホストファミリーのシステム、また妊婦健診代や分娩費の自己負担分、資格取得等のために県のふるさと寄付金を充当するなど、さらに手厚い事業となっています。それに加えて兵庫県下の高校生対象の性教育の実施に向けての動きもあります。

小さいのちのドアでも相談を受ける中で、高校生の性教育の必要性は日々感じており、マナ助産院が2000年から22年間行ってきた性教育活動を小さいのちのドアの傘下に入れて活動を継続しています。

マナ助産院の施設を小さいのちのドアのために

制度の狭間にあった妊婦の生活支援が国の事業となり、さらに来年度には法定化される運びとなっています。今、その準備が兵庫県モデルである私どもの「小さいのちのドア」の活動にも注目して頂きながら進められています。

これまで先が読めない中、手探りで作り上げてきた小さいのちのドアの活動ですが、今、はっきりと見える目標があります。それはこのような機能をもつ施設が全国に広がることです。2018年に大海原に小舟が一艘という状態で船出した私たちですが、さらに今、大洋に乗り出そうとしています。

私自身、2022年の春にそのことをひしひしと感じたことが、30年間続いたマナ助産院のお産を中止し、小さいのちのドアに専念する決断となりました。それに伴って、足らなくなった入居部屋や手狭になった事務所の増築のためにマナ助産院を小さいのちのドアの施設として使えるようにリフォームしました。実はマナ助産院はリフォームしたばかりでしたが、小さいのちのドアに来られる方の必要に応えることを優先したわけです。

最後に

少子化に拍車がかかる昨今ですが、数の問題ではありません。最も小さいのちである胎児や、社会的に弱い立場の妊産婦が守られることが真の豊かさにつながります。子どもの虐待死や、人工妊娠中絶など、小さいのちが軽んじられる社会ではなく、最も小さいのちが大切にされる国になりますように。その結果として元気な産声を上げるたくさんの赤ちゃんを迎えることができる国になるのではないかと確信しています。

それでは2022年度の活動を感謝を込めてご報告させていただきます。

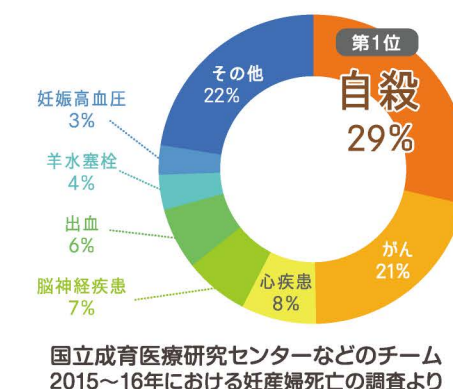
公益社団法人小さいのちのドア  
代表理事 永原郁子

中絶による傷

現在日本では統計上年間約12万件（実数はその倍とも）の人工妊娠中絶が行われています。中絶後に罪悪感や喪失感、うつ状態になる人や不妊症の原因になるなど、女性の人生に影響を及ぼしかねません。手術による死亡例も0ではありません。小さいのちと女性が傷つくことなく、いきいきと前に向かって生きる道を一緒に考えたいと願っています。



6.4人が生まれるのに対し1人が中絶



妊娠・出産・育児におけるメンタルヘルスの問題

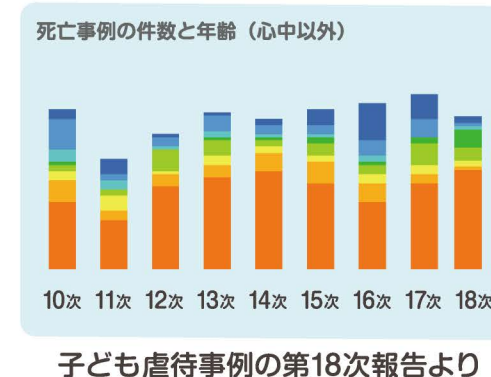
妊娠や子育てへの不安や生活環境の変化から、精神的に不安定になりやすく、産後うつなどメンタルヘルスの悪化で自殺に至るケースも多いと考えられています。サポートがあれば、防ぐことのできたものもあったでしょう。いつでも相談できる場所や少し休む場所があれば、救いたいのがあります。

DVや虐待の増加

月に1人以上の新生児が溝や公園、ロッカーに遺棄されています。19歳以下の虐待死の中で最多は0歳0日。その加害者はほとんどが母親。その全員が未受診で、多くが予期せぬ妊娠によるものでした。母親を責めることは簡単です。でも、そうせざるを得なかった母親の背景に、虐待や、夫からのDV（ドメスティックバイオレンス）を受けている事例も少なくありません。



児童虐待相談対応件数



家庭で暮らせない子どもたち

虐待や経済的問題、親がいないなどの理由で家庭で暮らすことのできない子どもたちが約4万2,000人います。子どもが健全に育つためには特定の大人の中で愛され受け入れられ育っていくことが必要です。



小さいいのちのドアは、社会的な課題を抱える妊産婦や小さいいのちに寄り添い、予期せぬ妊娠の相談から生活支援・自立までの一貫した支援活動に携わり、孤立している妊産婦や小さいいのちが大切にされる温かい社会の実現を目指して活動しています。

- 【1】 相談しやすい網目の細かいセーフティネットを構築
- 【2】 多職種での支援・専門性の強化
- 【3】 相談から自立まで一貫したケアを実施
- 【4】 中絶に関する正しい知識の提供
- 【5】 温かい居場所の提供
- 【6】 人生のターニングポイントとなるように自立を応援
- 【7】 パーマネンシーケアの推進
- 【8】 幸せな人生を築くための性教育の実施

思いがけない妊娠の背景にあるもの…

孤立  
精神疾患  
若年  
DV  
家族問題  
貧困  
性被害...など

思いがけない妊娠によって…  
生活が困難な状況に陥る

生活困窮 失業 休学退学

元々あった課題が浮き彫りになる

家庭崩壊 精神疾患 パートナートラブル 結婚

新しいリスクが生まれてくる

虐待 家族問題 パートナートラブル

大きな社会問題に発展していくことも…

健診未受診

中絶 飛び込み出産

新生児遺棄

無戸籍児

何とかなるでは通り過ぎることのできない「妊娠」という課題から、これまで・これからの課題をどう乗り越えていけるかが人生を大きく左右する

Chisana inochi no Door

24時間365日  
いつでも相談できます

就労・進学に向けた自立支援

医療・福祉・心理の  
国家資格を持った  
専門職者が対応

安全安心な場所での  
生活支援

電話・メール・LINE  
来所など、どんな方法でも  
相談できます

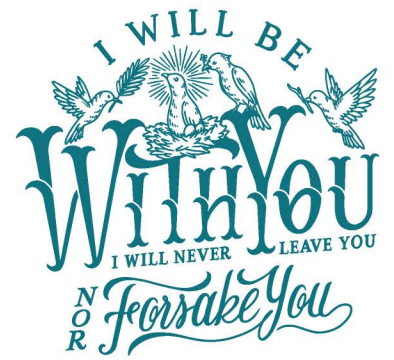
無料で検査や  
受診ができたり  
同行支援なども実施

- マタニティホームMusubi 開設・運営
- 兵庫県からの委託事業  
22年6月～  
特定妊婦等居場所確保・自立支援事業
- 企業・団体との自立支援の連携強化
- 社会福祉法人経営者協議会との連携
- ステップハウスの開設・運営
- 妊産婦ホストファミリー事業研修

兵庫県・神戸市委託  
性教育  
いのちのセミナー  
養子縁組などの啓蒙  
情報発信

新規相談者  
4,529人  
2022.4～2023.3

やりとり  
14,976回  
2022.4～2023.3



- 兵庫県からの委託事業  
20年9月～若年妊婦等支援事業  
21年4月～妊娠SOS相談事業
- SNSの強化(更新・DM相談の開始)
- 連携会議の実施
- ケースカンファレンス・会議の強化
- DV・虐待関係一時保護委託(妊婦)

相談支援  
同行支援  
連携調整  
P.6

生活支援  
自立支援  
P.8

予防  
普及啓発  
P.10

政策  
提言  
P.11

- H20サンタNPOフェスティバル参加
- 様々なメディアへの掲載・特集放送
- 研修・セミナーの実施
- アウトリーチチラシ配布
- 女の子の居場所カフェの開催
- 性教育部門いのち語り隊の活動

- 国会・県議・市議の先生方の視察・面談
- 厚生労働省ヒヤリング・視察
- 齋藤県知事の視察・共同記者会見



ACTIVITY  
活動紹介  
1

# 相談支援・同行支援・連携調整

連携会議の実施 / ケースカンファレンス・会議の強化 / DV・虐待関係一時保護委託（妊婦）  
兵庫県からの委託事業 [20年9月～若年妊婦等支援事業] [21年4月～妊娠SOS相談事業]

## 相談支援

今年度も引き続き兵庫県からと神戸市から予期せぬ妊娠SOS相談事業の委託を受け、SNSでの情報発信やTwitter・InstagramのDMでの相談を開始するなどしたこともあり、相談者数は昨年度に比べ1.4倍となりました。相談の多くは、妊娠疑い・避妊に関する相談ですが、毎年一定数の妊娠中期以降の病院未受診者からの相談や、孤立出産したとの緊急を要する相談も入り、緊急対応したケースもありました。また、臨床心理士・公認心理師のスタッフを増員し、相談体制の強化を行いました。事業を開始してから4年半、すべてのいのちを守ることができていることに安堵しています。

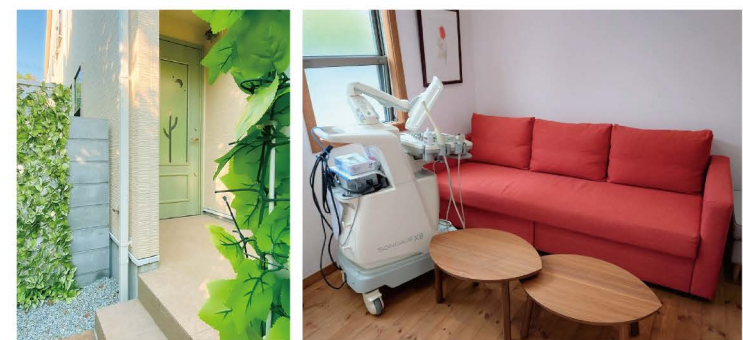


**SNSでの情報発信**  
Twitter・Instagramの投稿・更新頻度を増やし相談窓口について、またDMでの相談を受け付けることで相談への入口がさらに広がった

**研修・勉強会の実施**  
竹内正人先生をお招きしての研修会や、メンタルヘルス研修など、事例検討・勉強会を実施しスタッフのスキルアップ・体制強化を図っている

## 同行支援・連携調整

産科受診や行政などへの申請手続きを女性自身が行うのが困難な場合、医療機関や行政への同行支援を実施しています。継続的な相談支援を行いながら、各関係機関に情報提供し、連携を密にして支援にあたります。深刻な相談があった場合などは、入居の有無に関わらず、妊婦検診、行政での手続き、お産に同行、退院時のお迎えなど、同行支援を行っています。



24時間365日  
来訪可能なドア

相談室



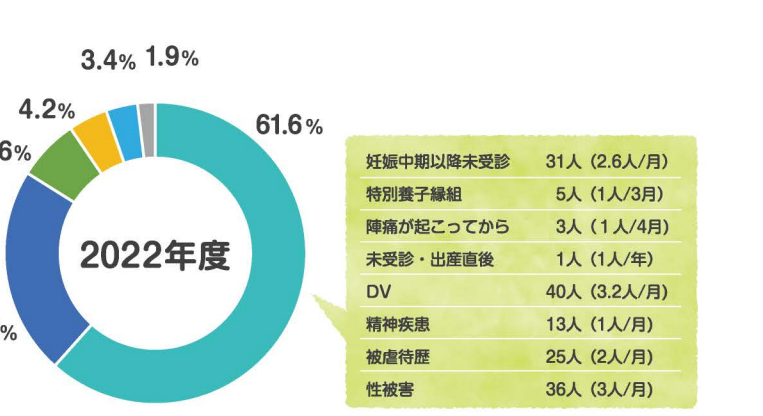
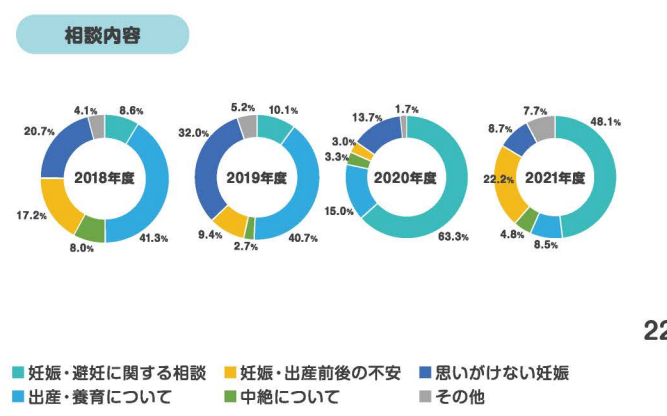
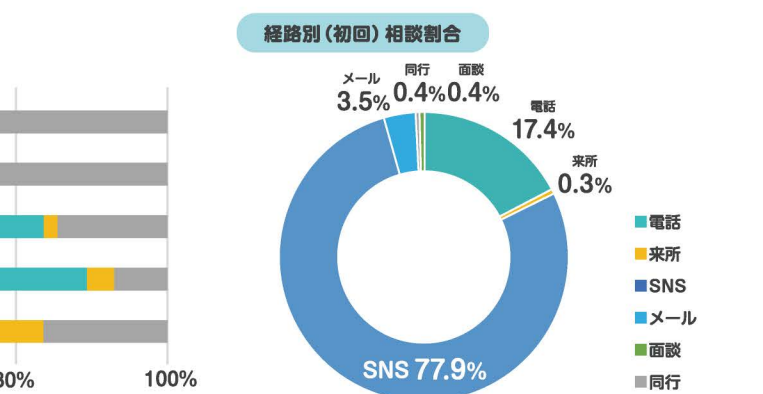
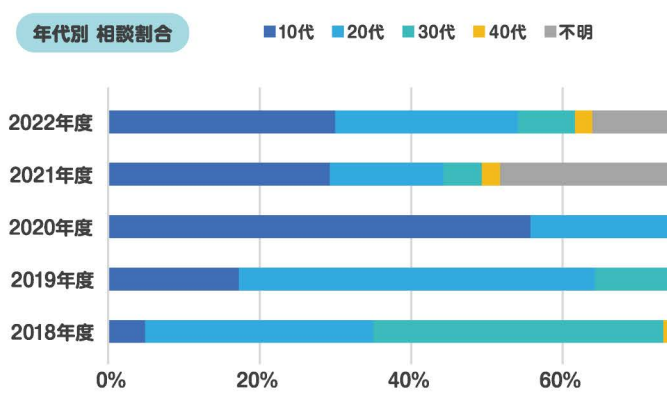
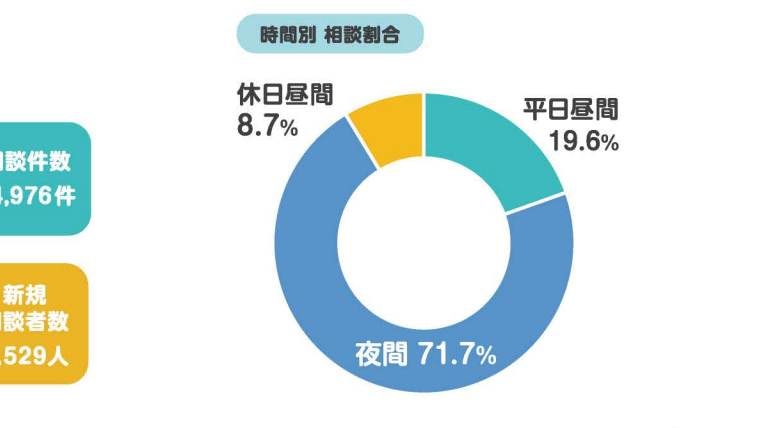
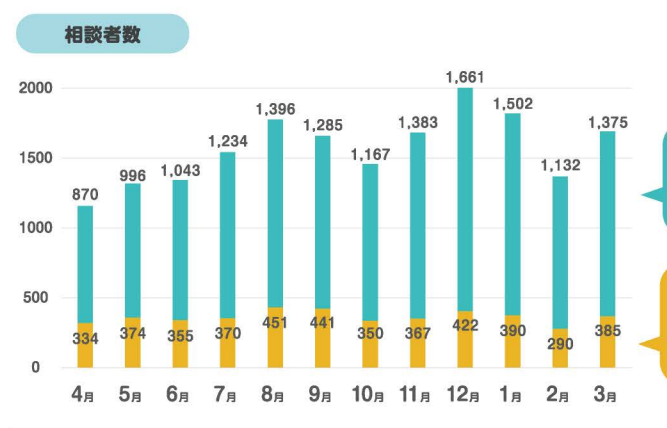
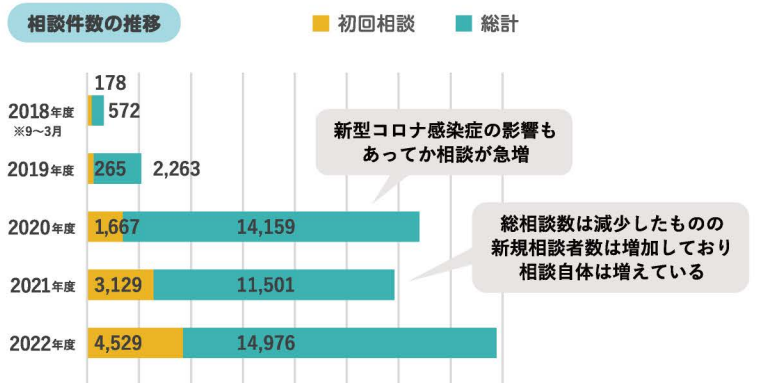
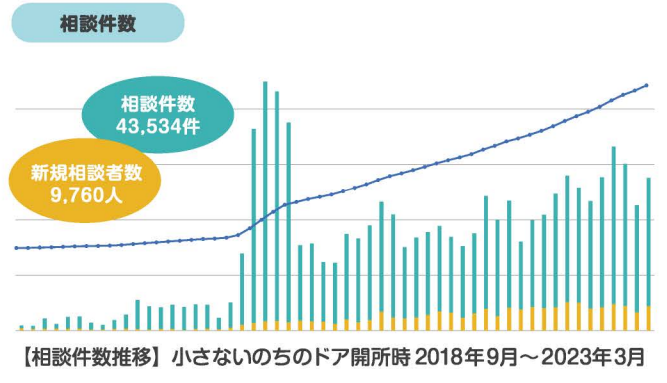
- 相談無料
- 匿名OK
- 秘密厳守



母子・保健・福祉の専門職が相談をお受けします

## 小さいのちのドアの目指す社会

- \* 結婚に至らない妊娠でも女性と胎児の尊厳が守られる社会に!
- \* 産んだ後、赤ちゃんを託すこと(特別養子縁組)が認められる社会に!
- \* 最も小さいのちである胎児や赤ちゃんが最も大切にされる豊かな社会に!



妊娠中期以降未受診	31人 (2.6人/月)
特別養子縁組	5人 (1人/3月)
陣痛が起こってから	3人 (1人/4月)
未受診・出産直後	1人 (1人/年)
DV	40人 (3.2人/月)
精神疾患	13人 (1人/月)
被虐待歴	25人 (2人/月)
性被害	36人 (3人/月)



## 生活支援・自立支援

連携会議の実施/ケースカンファレンス・会議の強化/DV・虐待関係一時保護委託(妊婦)  
兵庫県からの委託事業〔20年9月～若年妊婦等支援事業〕〔21年4月～妊娠SOS相談事業〕

2020年12月、居場所や住む所のない妊婦の方が産後自立するまでの間、何の心配もなく、安全かつ安心して過ごせる生活環境、妊産婦の専用施設「マタニティホームMusubi」をオープンしました。

【人と結ばれ・社会と結ばれ・絆が結ばれ・愛が結ばれる】そんな居場所になれたらと、思いを込めて名付けたマタニティホーム「Musubi」は、妊娠による様々な理由で行き場を失った妊婦のための居場所。入所された方々は自立へ向けて、産後1年を目標に、住む場所ややりたい仕事・働き方などを一緒に考えて応援します。

相談や生活支援をはじめ、関連機関への連携や同行支援、自立に必要な資格試験や高卒認定試験や勉強など、ご自身で生活できるまでをサポートしています。



ここに来れてよかったです。  
赤ちゃんのこと  
初めて愛おしく思えました。

## 生活支援施設 マタニティホーム Musubi

- 衣食住や入浴などの提供(無料)
  - <衣> リサイクルのマタニティウェアや新生児のための育児用品等の提供
  - <食> 3食提供(共有スペースで食事、部屋で食べる方もある)
  - <住> 2階に居住スペース5部屋と1階にコロナのための待機室1部屋
- 病院同行支援(産婦人科、精神科など)
- 陣痛が始まったら病院へ送迎。必要な物を届けたり、退院時のお迎え
- 行政同行支援(健康保険、母子手帳、住民票、生活保護、児童手当)
- 家族やパートナーとの調整(電話、話し合いの場を設定するなど)
- お金が全くない人のための支援を考える(低所得者支援など)
- 新生児の遺棄事件防止やDV対応のためのセキュリティを完備

死のうと思っていたとき  
「あなたのことも守りたい」  
そうってもらえた言葉が  
すごく嬉しかったです。  
私の帰る場所になりました。

今まで誰も自分の話を、ちゃんと  
聞いてくれる人はいなかったけど  
ここにきて本当に救われました。  
居場所を作っていただけ  
ありがとうございました。

## 【医・居】

24時間365日いつでも  
電話・来所・メール・LINEなど  
どんな方法でも相談できます

助産師や保健師など専門職が対応しています  
予期せぬ妊娠などで悩む女性に寄り添い  
笑顔で歩いていけるお手伝いをしています

Musubi Cafeなどを通して  
女の子たちの居場所づくり

妊娠検査薬を使用した妊娠判定や  
助産院と連携し診察することができます

初回受診～出産～産後をサポート  
生と性の教育を実施

## 【食・職】

温かいバランスのとれた  
食事や食卓の提供

自立に向けた  
就労支援や学習支援

やりたい仕事や働き方を  
一緒に考え、応援します

## 【住・充】

行き場のない妊産婦さんのための  
安心安全に過ごせるマタニティホームを運営  
行政や民間のサービスを活用し、自立までをサポート

サポーターの顧問弁護士や精神科医などもあり  
様々な面からサポートできます

誰でも安心して相談できるように  
匿名・無料で、相談できるようにしています

赤ちゃんが温かい家庭で育つこと  
お母さんが幸せに生きていくこと  
どちらも叶う生き方を一緒に探します

## 特定妊婦等居場所確保・自立支援事業

2022年6月から兵庫県の特定期間等居場所確保・自立支援事業を受託しています。産後1年程度までの支援を継続し、自立に向けた個々のステップを踏みながら、できる支援のかたちを強化していきます。事業の受託により、行政等からの相談での入所が増えています。就労支援についても、社会福祉法人経営者協議会との連携もあり、社会の支援の輪の広がりがみられています。

## マタニティホーム「Musubi」

場所 : 兵庫県神戸市北区  
居室 : 6室(R5.4月より+3室)  
利用対象者: 妊娠中～産後半年程度

※産前2か月以前は独自事業  
※特定妊婦等支援臨時特例事業として委託

## ステップハウス

場所 : 兵庫県神戸市市内  
居室 : 民間賃貸 2室  
          県営住宅 2室

利用対象者: 産後半年～1年程度  
※特定妊婦等支援臨時特例事業として委託

## 居室増室のためのリフォーム工事

2022年9月より、日本財団様のベルズ基金と皆様からのご支援により、隣接するマナ助産院とマタニティホームを繋げるリフォーム工事を行いました。マタニティホーム建設の際にお世話になりましたケーアイリビング様が、今回のリフォーム工事も請け負っていただきました。入居者さんのお部屋を増室することができ、様々なスペースが確保され、また、それに伴い必要な備品が設置され、より快適に過ごしていただけるようになりました。



## ステップハウス

マタニティホームで生活する母子が自立していくための住まいとして、県営住宅や民間賃貸を活用した「ステップハウス」の利用が9月に始まりました。産後の母子での生活に慣れていただけるように、自炊、子育て用品・家具・電化製品の準備、就労、保育所入所などの今後の計画を、スタッフが定期的に見守りの支援を行い、サポートしながら生活していきます。2022年度はマタニティホームからステップハウスに4名の方が移られました。

## 妊産婦ホストファミリー事業

地域において、実家のない妊産婦の方が帰ることができる場所を提供するホストファミリー事業をスタートするための準備として、3月に妊産婦ホストファミリー研修会を行いました。ご自宅に招いて食事を共にするなど、できるかたちで親子を支援していただけるホストファミリーを増やしたいと考えています。退所された方のアフターフォローにもつなげられるよう進めてまいります。



## 予防・普及啓発

H20サンタNPOフェスティバル参加／様々なメディアへの掲載・特集放送／研修・セミナーの実施  
アウトリーチチラシ配布／女の子の居場所カフェの開催／性教育部門のいち語り隊の活動

### アウトリーチ

社会問題にもなっている新生児遺棄事件等の背景をみると、誰にも相談できなかったといった課題が浮き彫りになっていることから、アクセスしやすい相談場所を設定することは必須です。十分な性教育が行われていない昨今、性の低年齢化も進んでおり、若年妊娠は深刻な社会問題になっています。あわせて虐待件数は増加の一途をたどり、家族機能不全の中で育つ子どもたちも増え、家に帰れずに夜をさまよう女の子たちがいる現状があります。そのような女の子たちは思いがけない妊娠の予備軍でもあり、正しい性教育とともに、居場所づくりをしていく必要があります。

そこで、アクセスしやすい繁華街である三宮に拠点を構え、予防の拠点づくりを行っていくことも目的として、今年度は三宮のカフェをお借りして、女の子の居場所カフェ提供を2カ月に1回行い、同時にチラシ配りも行いました。実際にカフェに訪れる方はまだ少ないものの、SNSでの発信やポスティングを行っている影響からか、その時間帯の相談数が急増する傾向があるため、一定の効果を実感しています。来年度はさらに活動範囲を広げながら、よりアクセスしやすい居場所づくりを行っていきたいと思います。



### 性教育「いち語り隊」

今年度より、マナ助産院から性教育活動「いち語り隊」の働きを引き継ぎ、小さないのちのドアの性教育部門として活動しています。小さないのちのドアの活動を行う中で、相談内容からも偏りや間違った性の情報に振り回されていることが感じとられ、正しい性の情報を伝えていくこと、また自分自身と他者の生と性を大切にできるような性の本質を語ることを大切にしながら性教育を実施しています。

今年度は、106校、121講演を行いました。そのうち3校は、高校生を対象に性教育モデル事業として講演を行い、アンケート結果からも性教育の重要性を感じています。今後も、小さないのちのドアの活動を通して見えてきた社会の課題を踏まえながら、高校生への性教育に力を入れ、より多くの学校や施設で講演を行うことができるよう講師の育成を積極的に行っていきたいと考えています。また、来年度には県下の高校生を対象にした性教育が実現できるよう準備していきます。



### メディア掲載

2022/04

・取材：西日本新聞社

2022/06

・取材：毎日新聞熊本市支局 (Zoom)

・取材：関西テレビ

・放映：NHKニュース (兵庫県のみ)

・放映：MBSニュース

・掲載：神戸新聞

・掲載：兵庫県ホームページ

・放映：関西テレビ 報道ランナー

2022/07

・取材：読売新聞

2022/08

・取材：時事通信社

2022/09

・取材：サンテレビ

・取材/放映：関西テレビ 報道ランナー

・取材：読売新聞 (電話取材)

・取材：朝日新聞

・取材：サンテレビ

2022/10

・放映：MBS毎日放送

・掲載：兵庫県ホームページ

・掲載：神戸新聞

・取材：NHK熊本

2022/11

・放映：NHK/サンテレビ

2022/12

・取材：読売新聞西部本社

2023/02

・取材/掲載：読売新聞

## 政策・提言

国会・県議・市議の先生方の視察・面談／厚生労働省ヒヤリング・視察／齋藤県知事の視察・共同記者会見などお話を聞いていただき、政策提言いたしました。



兵庫県議の長岡先生・福島先生  
11人の自民党の先生方



自民党 参議院議員石田昌弘先生の秘書  
五反分様



自民党 参議院議員  
自見はなこ先生



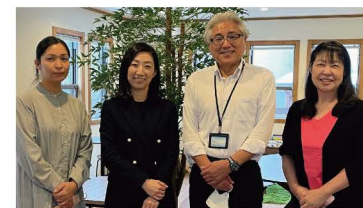
齋藤元彦兵庫県知事



日本維新の会 参議院議員  
金子道仁先生



自民党・参議院議員  
石田昌弘先生



日本維新の会 姫路市議会議員  
大西陽介様・竹中ゆか様



内閣府大臣政務官の自民党・参議院議員 自見はなこ先生  
総務省行政評価局アドバイザーの清原先生  
内閣官房 子ども家庭庁設立準備室の企画官  
内閣府子ども・子育て本部審議官  
内閣府大臣政務官秘書官の方々



日本維新の会 参議院議員  
清水貴之先生

### Activities plan

### 今後の課題

#### 事業内容

1. 思いがけない妊娠により途方に暮れる妊婦や出産後、育てられないと追い詰められた女性への助言、相談窓口「小さないのちのドア」の開設及び運営
2. 思いがけない妊娠により途方に暮れる妊婦や出産後、育てられないと追い詰められた女性の生活支援施設「マタニティホーム・Musubi」の開設及び運営
3. 妊産婦及び児を取り巻く現代の複雑な社会環境の現状とその対策を周知し、必要な際に適切な窓口へとつなぐことができるように講演、セミナーその他の方法により社会に広報啓発する事業
4. その他当法人の目的を達成するための必要な事業

#### 2023年事業計画

— 支援体制の充実・強化に向けて —

1. 相談支援・生活支援体制の強化・充実
2. 兵庫県下の高等学校での性教育の実施
3. 実家の無い妊産婦に実家がわりとなる妊産婦ホストファミリーの仕組みづくり
4. 相談を待つだけではなく、繁華街に出て行って、女の子たちの居場所を作るアウトリーチの働き
5. 5周年記念講演の開催



## — 「小さいのちのドア」 設立～2023年3月まで —

- 2017/01 ----- 行き場のない女性の居場所づくりのため  
「一般社団法人マタニティホーム・マナ」設立
- 2017/12 ----- ベビークラッペ（赤ちゃんポスト）発祥のドイツへ  
視察。面談型赤ちゃんポストの設置を目指し、準備  
を進める。
- 2018/08 ----- 一般社団法人小さいのちのドア設立
- 2020/09 ----- 兵庫県・神戸市より  
悩みや不安を抱える若年妊婦等支援事業委託
- 2020/12 ----- 行き場がなく、頼る場もない女性のための  
生活支援施設マタニティホーム「Musubi」開設
- 2021/04 ----- 兵庫県の委託事業  
24時間体制の妊娠SOSスタート
- 2021/09 ----- 「小さいのちのドアを開けて」出版  
出版&小さいのちのドア3周年記念イベント
- 2021/11 ----- 齋藤兵庫県知事が小さいのちのドアを視察  
課題を抱える妊産婦等支援プロジェクトチーム発足
- 2022/02 ----- 一般社団法人から公益社団法人へ移行  
READYFOR 継続的寄付プログラムをスタート
- 2022/06 ----- 兵庫県の委託事業  
特定妊婦等居場所確保・自立支援事業スタート
- 2022/09 ----- 増室のためのリフォーム工事開始  
ステップハウス活用開始
- 2022/11 ----- 県営住宅活用開始
- 2023/03 ----- 妊産婦ホストファミリー研修を開催



## サポート企業・団体

合同会社向伸・一般財団法人敬愛まちづくり財団・株式会社M&Hリライアンス・株式会社オフィスマーメイド・株式会社ケーアイリビング・有限会社建築工房森玉・株式会社永川組建設・株式会社グレイスファーマシー・フードバンク関西・神戸中央青果卸売協同組合・国際ソロプチミスト神戸・日本財団・西本ラボ株式会社・NPO法人AIC-Japan・国際ゾンタ26地区・生活協同組合コープこうべ・株式会社ベルマリエ・兵庫県養鶏協会・特定非営利活動法人CONCENT（順不同）

## 助成団体

兵庫県・神戸市・公益財団法人日本財団・一般財団法人日本G&M文化財団

マタニティホームを運営するなかで、とても大切なお働きを担ってくださっているのが、ボランティアメンバーの方々です。サポートいただいているお働きの一部を紹介いたします。

## 【お食事ボランティア】

栄養満点のお食事を通して、心も身体も満たされる、マタニティホームでの温かい時間を作ってくださいませ。季節の食材を使った素敵なお弁当を届けてくださる方もいらっしゃいました。

## 【事務所ボランティア】

ニュースレターを送信するために、折り作業や封入の作業などをしてくださいました。

## 【アウトリーチボランティア】

小さいのちのドアの活動を広めたいとの思いで、居場所カフェオープンの日を中心に、三宮でのチラシ配りをしてくださいました。ボランティアメンバーの方々には数えきれないほど助けて頂いており、どの場面においても、皆様の温かく優しいお心に感謝でいっぱいです。現在はコロナの影響を鑑み、状況を伺い調整している活動もございますが、ボランティア研修は随時行っております。詳細につきましては、どうぞホームページをご覧ください。



Instagram 小さいのちのドアのボランティアは随時募集しています。ホームでの働きや様子はInstagramにて更新中。チェックしてみてくださいね♪



正味財産増減計算書（2022年4月～2023年3月）

（単位：円）

I 一般正味財産増減の部		事業会計	法人会計	合計
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
	一般会員受取会費	830,029	830,029	1,660,058
	賛助会員受取会費	180,088	180,087	360,175
受取寄付金・補助金		11,906,504		11,906,504
委託料		42,609,486		42,609,486
事業収益		3,622,548		3,622,548
一般正味財産振替額		1,644,764	385,820	2,030,584
雑収益		7,000	459,061	466,061
経常収益計		60,800,419	1,854,997	62,655,416
(2) 経常費用				
事業費		60,321,050		60,321,050
管理費		479,369	5,353,423	5,832,792
経常費用計		60,800,419	5,353,423	66,153,842
評価損益等調整前当期経常増減額		0	-3,498,426	-3,498,426
当期一般正味財産増減額				-3,498,426
一般正味財産期首残高				11,721,568
一般正味財産期末残高				8,223,142
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金・会費・補助金・委託金		25,034,676		25,034,676
一般正味財産振替額		-1,644,764	-385,820	-2,030,584
当期指定正味財産増減額		23,389,912	-385,820	23,004,092
指定正味財産期首残高				50,572,701
指定正味財産期末残高				73,576,793
III 正味財産期末残高				81,799,935

小さいのちのドアは、皆様からの寄付金で運営しています。どうぞ一緒に、小さいのちのドアを支えてください。ご支援いただいた寄付は、以下の用途に活用させていただきます。

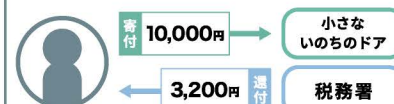
- 相談者のための医療費
- 来所のための交通費
- 利用者の衛生用品の購入
- マタニティホームの光熱費や食費
- セキュリティ関係
- 当直や給仕のための人件費
- 必要物資 etc...

小さいのちのドアへのご寄付は  
**税制優遇**あり

小さいのちのドアは、社会的信頼度の高い公益社団法人と認定され、個人・法人共に税制上の優遇措置を受けることが可能となりました。法人(民間企業等)から、小さいのちのドアへ支出された寄付金について、所得金額や資本金額等から算出される一定額を限度として、損金算入すること(損金算入の分だけ、課税対象額が減少)ができます。個人の場合も、確定申告を行うことで寄付金控除を受けることができます。

【例】10,000円を寄付した場合(個人)

計算式 (寄付金-2,000円)×40%



3,200円の還付を受けることができます

※金額は寄付金額などにより異なります。

## サポートの種類

1. 一般会員 一口(個人) 10,000円/年(団体) 100,000円/年
2. 賛助会員 一口(個人) 3,000円/年(団体) 30,000円/年
3. マンスリーサポーターになる: 任意の金額/月
4. 寄付をする
5. ふるさと納税で寄付をする ※詳細はホームページをご覧ください
6. ボランティアに参加する ※詳細は事務局へ
7. 里親希望(特別養子縁組や里親制度をご紹介) ※詳細は事務局へ

## 入金先

## 1. オンライン決済(クレジットカード決済)

Square(スクエア)・Syncable(シンカブル)・READY FOR(レディフォー)でのクレジット決済が可能です。  
<https://door.or.jp/support>



## 2. 銀行振り込み

金融機関	三井住友銀行	ゆうちょ銀行
支店名	鈴蘭台支店(348)	099(セトキウキウ)店
種類・番号	普通5062338	当座0333599
名義	公社) 小さいのちのドア	小さいのちのドア

※三井住友銀行にご入金くださった方は、電話/FAX、メール、または、小さいのちのドア宛にお名前とご住所をお知らせ下さい。ご連絡がないため、ご報告やご挨拶ができないままの方々が複数名おられます。特に領収証が必要な方は、必ず連絡先をお知らせください。

## 3. 郵便振替・自動送金

記号 00900-9  
番号 333599  
加入者名 小さいのちのドア

## 4. 現金書留

下記、事務局宛にお願いします。

公益社団法人小さいのちのドア事務局  
兵庫県神戸市北区ひよどり台2-30-6  
TEL/FAX: 078-743-2405  
Mail: support@door.or.jp

一般会員やマンスリーサポーターとして支えてくださる方には活動報告書(1/年発行)を、ご支援くださった方には、ニュースレター(1~2/年発行)をお送りいたします。

また、ニュースレターにはご支援くださった方々のお名前を掲載させていただきます。匿名希望の方は、お知らせください。